

「第3回 路面下空洞対策連絡会」

－合理的な道路陥没対策に向けた知見と経験の共有－

【主催】 東京大学生産技術研究所 空から地表からインフラを診る研究会

【後援】 国土技術政策総合研究所

現在日本全国で年間 1 万件超の道路陥没が起きています。今後一層懸念される道路陥没への対応策が、“都市の危機管理における路面下空洞対策戦略会議（2017年8月～2018年5月）”にて7つの政令市の参加により議論され、“維持管理は危機管理”であること、路面下空洞対策の先行都市の経験の共有を促進することが対策の加速化につながることが確認されました。全国の都市の成熟化が進み中小都市においても陥没対策が必要となる流れの中で、各都市の知見・データや経験を共有・集約し、それらを活用するプラットフォーム構築の実践を目指し、2019年11月13日に第1回、2020年12月3日に第2回路面下空洞対策連絡会が開催されました。今回第3回の連絡会を開催し、全国の陥没対策に関わる施設管理者間で知見と経験の共有と、今後の連携の在り方について議論をさらに深めます。

日時：2022年3月4日(金) 10:00～12:00

場所：オンライン

- 10:00 開会・趣旨説明
- 10:10 路面下空洞調査に関する技術評価の取組について 国土技術政策総合研究所 渡邊一弘
- 10:20 道路インフラ表面・地中モニタリングの最先端 東京大学 水谷司
- 10:40 北海道三笠市道道陥没の調査結果とメカニズム 寒地土木研究所 林宏親
- 11:00 道路陥没対策ソリューションの開発 東京大学 桑野玲子
- 11:20 空洞対策取組事例－成熟都市における陥没対策の経験の共有と今後の連携－
- 静岡県における路面下空洞対策の取組について 静岡市道路保全課 鏡味志津枝
- 神奈川県における路面下空洞対策の取組について 神奈川県道路管理課
- 路面下空洞調査結果と衛星 SAR のアーカイブデータ時系列解析の比較による
実務利用に向けた検討 府中市都市整備部 楠本俊二郎
- 11:50 空から地表からインフラを診る特別研究会 紹介 東京大学 竹内渉
- 12:00 閉会

【案内ウェブサイト】

<https://geo.iis.u-tokyo.ac.jp/category/urcmlm/>

- ※ 要申込み（定員 500 名：先着順、お申込みはお早めに）
参加を希望される方は、上記 website より申込フォーム
(<https://forms.gle/YyVTMFS75HwVLMUq5>) にて 3/3(木)までにお申込み下さい。
または、参加ご希望全員の氏名／ご所属／連絡先（メールアドレス）記載の上、下記アドレス
までメールをご送信ください。
問合せ・参加申込送付先：吉本 (yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp、03-5452-6472)